

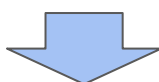
# 気仙沼市における災害時の外国人への支援 (気仙沼高校・2年4組23番)

## I 目的

気仙沼市に住む外国人に必要な災害時の支援を明らかにする

## II 背景

- 外国籍を持つ市民の増加 ・気仙沼市(2021)
- 地震や津波が多発・甚大化
- 「災害時要支援者」に指定 ・内閣府(2013)



災害による犠牲者を一人でも減らしたい

## IV 考察・まとめ

- 大規模な災害時の支援は存在しない
- 企業などの小規模な範囲の支援は存在する
- 行動の主体や支援の対象、場面などを明確にした支援が最適かつ必要  
(外国人が本当に求める支援を的確に行う)

## V 展望

- 具体的な支援内容の考案・提言  
例:行政放送の工夫、災害についての認知
- 事前支援の実施  
例:災害の知識があまりない外国人向けに予め災害に対応する力をつけてもらうワークショップの開催

## III 調査

### ■調査方法(いずれも聞き取り調査)

調査 I 気仙沼市議会議員 I氏

調査 II (株)菅原工業 社長 S氏

調査 III 気仙沼市役所  
震災復興・企画課副参事 A氏

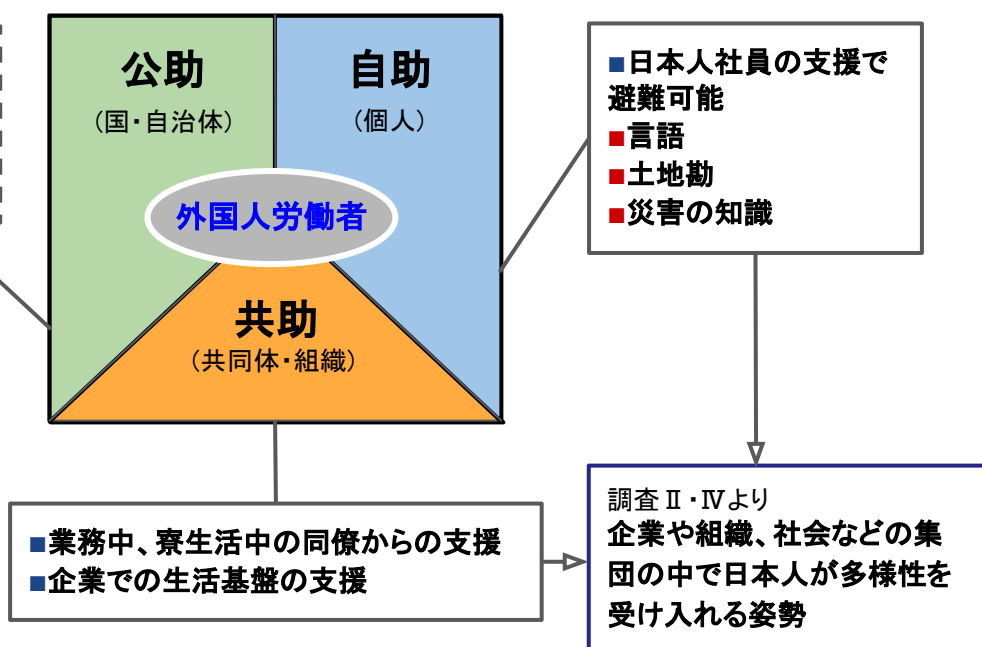
調査 IV (株)菅原工業 インドネシア人技能実習生N様・D様

### ■調査結果

調査 I より  
■現在、災害に特化した  
外国人支援は存在しない  
(過去にも存在した事例なし)

調査 III より  
事前対策・発生時それぞれで  
異なる支援や対策をする必要あり

調査 IV より  
理解しやすい情報と  
日本人と変わらない平等な支援  
を求めている



## 参考文献

- 気仙沼市.2021『気仙沼市統計書』(気仙沼市 戸籍と住民登録 外国人住民数).最終閲覧日2021年11月7日.  
<https://www.kesenuma.miyagi.jp/sec/s021/010/020/090-6/20210225104143.html>
- 内閣府.2013.『避難行動要支援者の避難行動支援に関する取り組み指針』
- 聞き取り調査にご協力頂いた方々(I様、S様、A様、N様、D様)